

リビングは家族みんなが過ごす場所…

だからこそ、「安全・健康・快適」に… 内飼いが70%を超え、犬が家族の一員となってきた今、人間だけでなく、犬の安全や健康についても住まいの工夫が求められています。椎間板ヘルニアや膝蓋骨脱臼などの関節疾患、ノミアレギーなどの皮膚疾患を罹患する犬が増え、その原因のひとつとも言われている床材選びの重要性が、近年特に注目されてきています。そこで、今回はリビングにおける床材・壁材選びのポイントをご紹介します。



梅津 基世人(うめづきよと) ●住友林業クレスト 愛犬との暮らし推進室 スペシャルアドバイザー。WOODY PLANNING代表 ●愛犬家住宅プランニングガイドブック(発行:株ワンオンワン)、愛犬との暮らし読本(発行:住友林業クレスト株)などをプロデュース。セミナーやイベント、雑誌のプロデュースなど様々な活動を通じ、「人間にも愛犬にもやさしい住まいづくりの実現」に向けメーカー・施工事業者・飼い主をコラボレートする活動を全国で推進中。



床材選びのポイント

人にも愛犬にも快適な床とは、まず「滑りにくいこと」がポイントです。椎間板ヘルニアや膝蓋骨脱臼などの関節の病気が増加している今、滑りにくい床を選ぶことは、健康を守る大切な予防ポイントのひとつだと思います。

次に、「清潔に保てること」が大切です。抜け毛やよだれ、粗相など掃除をしやすいければ、ニオイもつきにくいですし、ダニやノミから守ることもできます。「メンテナンスが簡単なこと」も注目ポイントということですね。「タイル床」や「フローリング」などのタイプなら掃除をやすく清潔な環境を整えやすいので良いと思います。ただしタイル床は表面が硬いので、人間が違和感や疲れを感じてしまうこともありますし、壊れ物などの落下には注意が必要です。

また、「傷がつきにくいこと」も大切なポイントです。体重の軽い小型犬でも材質によっては爪で簡単にキズをつけることができるので、注意しておくことが必要なんです。

最後に、誰もが気になる「安全であること」を満たしているか。床を舐めてしまったり、皮膚に直接接触することが多い愛犬への心配はたえないものです。そこで、フローリングはワックス不要のタイプなど犬が舐めても安心なものや、耐水性(耐アンモニア性)が高いものを選ぶことも、快適な住まいづくりへの一歩といえます。



高齢になると筋力が弱くなり、畳の上でも滑って足が開き「立てない」「歩けない」ということも。



愛犬の居場所やトイレ、お手入れ場所などへ部分的な設置もおすすめ。



滑りにくく傷つきにくい「シストS+ワン」耐アンモニア性、耐キャスター性も高く、ワックスも不要

壁材選びのポイント

愛犬との住まいづくりには壁の素材選びも大切です。「齧りや引っかきに強いこと」にも注意して選びたいですね。さらに、愛犬が体をこすりつけたり、よだれがつく心配もあります。「汚れや傷がつきにくく、掃除が簡単なこと」がポイントです。壁材には、板(木)、クロス(布・紙)、タイルなど豊富な素材に加え、ニオイを吸着したり分解したりする機能や、吸湿機能などを持つものもあります。デザインや、テイストを重視しつつ、必要な機能を選択することで、より快適性がupすることでしょう。



上: 犬の足の届く高さまで「腰壁」を設置。腰壁から天井まではクロス貼り。
左: タイルタイプ(消臭・調湿機能付)

リフォームフロア シストS+ワン

「ワックス不要で、滑りにくく傷や汚れにも強い」
既存床の上から直に貼れるリフォームフロア

既存床の上から直に施工可能。手間やコストをかけずに愛犬に配慮した床にすることができます。同柄のリフォーム框と組合せれば、玄関も美しく仕上がります。



6mm厚タイプで簡単施工



框や見切り材もあります

問い合わせは
コチラへ

TEL 052-205-8451

FAX 052-205-8450

TOYOPLY 住友林業クレスト株式会社
営業本部: 〒460-8428 名古屋市中区錦3-10-33 錦SISビル2階